

病院概要

- ◆ 管理者 川合 耕治
- ◆ 病院長 渡邊 安里
- ◆ 主な病院機能 救急告示病院、災害拠点病院、地域医療支援病院、認知症疾患医療センター
日本医療機能評価機構認定病院
- ◆ 病床数 250床 (回復期リハビリ42床)
- ◆ 主な診療科 内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、精神科、放射線科、麻酔科、救急科

回復期リハビリテーション病棟概要

病室	病床数	主な設備
4人部屋	32床	テレビ*、冷蔵庫*
2人部屋	2床	テレビ*、冷蔵庫*
個室(3,000円/日)*	6床	テレビ*、冷蔵庫*、トイレ
個室(5,000円/日)*	2床	テレビ*、冷蔵庫*、トイレ、シャワー

*個室の価格は税別です

*テレビと冷蔵庫は有料です

リハビリテーション

脳血管疾患等リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテーション料(I)
廃用症候群リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、
心大血管リハビリテーション料(I)、がん患者リハビリテーション料

病棟スタッフ

リハビリテーション専任医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、
管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士・看護助手、クラーク

交通アクセス



公共交通機関でお越しの場合

- JR伊東線 伊東駅下車 東海バス（市民病院行、修善寺駅行、観光庄下行）にて約10分
- 伊豆急行線 南伊東駅下車 徒歩約7分

お車でお越しの場合

- 県道伊東修善寺線「広野1丁目交差点」を冷川峠方向へ約300m

回復期リハビリテーション病棟 ご案内



回復期リハビリテーション病棟ってなに?

回復期リハビリテーション病棟は、疾病や傷害によって日常生活が困難となった方が、在宅生活に必要な動作を習得することを目的としています。この病棟では、リハビリテーションに加え、手すりの設置などの環境調整や介護サービスの導入も行われることがあります。

入棟に際しては、事前に判定会を実施し、適応疾患や入院目的を確認します。当病院は、伊東市を中心に地域医療支援病院として24時間救急や急性期病棟が併設されていることから、併存疾患がある方も安心して地域生活に身近な入院環境でリハビリテーションに取り組むことができます。

退院時期は、医師やリハビリテーション専門職、看護師、社会福祉士、管理栄養士などの多職種によるカンファレンスで決定されます。この際、疾患の回復状態や動作の習熟度、改善の見込み、本人の意欲、退院後の受け入れ環境などを総合的に考慮します。

回復期リハビリテーション病棟に関わる職種



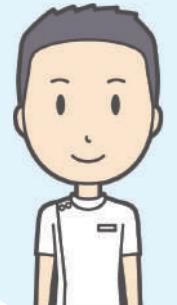
理学療法士

起きる、立つ、歩くなど、日常生活に必要な基本的動作能力の獲得へ向けた訓練を主に担当します。



作業療法士

食事、着替え、入浴などの日常生活動作(ADL)の習熟や、家事、仕事など退院後に必要な社会活動への参加を視野に入れた訓練を主に担当します。



言語聴覚士

快適にその人らしく日常生活を送ることができるよう、摂食・嚥下訓練、言語障害に対する訓練を主に担当します。



医師

一人ひとりの状態を把握し、患者さんが安心してリハビリテーションを行えるよう、入院中の医療的な管理を行います。



看護師

リハビリテーションの時間以外にも、必要に応じてトレーニングのお手伝いをするなど、気持ちに寄り添いながら日常生活が向上する支援を24時間行います。



社会福祉士

社会福祉制度全般の相談、調整の支援をさせていただいている。ご本人、ご家族が望まれる生活ができるように、多職種と連携してサポートします。



管理栄養士

リハビリテーションを中心に豊富な活動量が求められる患者さんに栄養状態の評価と十分な栄養補給を行い、再発予防や基礎疾患に対応した指導も行います。



介護福祉士・看護助手

看護師とともに入浴やトイレへの移動、洗面などのお手伝いを行い、安全で清潔な環境でリハビリテーションが行えるようサポートします。

入院中の過ごし方

6:00

起床

» 洗面 / 着替え » 朝食 / 歯磨き » » 午前のリハビリ » » 昼食 / 歯磨き



おはようございます

7:30

朝食



朝食で 1日の訓練の活力に

12:00



リハビリは 無理やずゆっくり

18:00

夕食



季節によって行事食が楽しめます

21:00

消灯



おやすみなさい

入院から退院までの予定

入院

入院時評価

リハビリテーション計画

初期カンファレンス

中期カンファレンス

リハビリテーション計画

退院調整

退院日決定

※ 入院までの流れは別紙ご参照ください

再び充実した生活ができるよう、チームでサポートします

入院時に必要なもの

- 診察券(お持ちの方)
- 健康保険証/その他公費等の受給者証【労災/交通事故での入院の場合もお持ちください】
- 身体障害者手帳/介護保険証(お持ちの方のみ)
- 印鑑
- 退院証明書(過去3ヶ月以内に他の医療機関に入院された方)
- 服用中の薬、お薬手帳
- 診療情報提供書
- リハビリサマリー
- 看護サマリー
- 高額療養費限度額適用認定証(事前に手続きが済んでいる方)

日用品 / 身の回りのもの

- 上着(運動に支障のないもの)
- ズボン(運動に支障のないもの)
- 下着(肌着/パンツ)
- 紙オムツ/お尻拭き(使用している方)
- パジャマ等
- 羽織るもの
- 靴下
- 運動靴(今お持ちの靴でかまいません)
- タオル(洗体タオルも含む)
- バスタオル
- 髭剃り道具
- ヘアブラシ
- 歯ブラシ/歯磨き粉等
- 入れ歯の方は入れ歯ケース
- 懐中電灯
- 置時計
- イヤホン
- その他(必要に応じてティッシュペーパーやウェットティッシュなど)

寝巻・タオル類等の日用品については、アメニティセットのご用意もあります。詳しくは入院時に病棟へお問い合わせください。

その他 入院に関してご不明な点はお手数ですが下記までお問い合わせください。



伊東市民病院

Ito municipal hospital

指定管理者：公益社団法人地域医療振興協会

TEL : 0557-37-2626 (代表)

FAX : 0557-35-0631

受付時間 月曜～金曜 8:30～17:00

休業日 土日祝日、年末年始(12/28～1/3)

回復期リハビリテーション病棟入院までの流れ

01 入院相談

現在入院されている病院のスタッフにお申し出ください。現在入院されている病院を通じて、診療情報提供書及び生活情報調査票(ADL 票)が当病院地域医療連携室に FAX で届きます。

なお、自賠責保険や労災保険等をご利用の場合や、お部屋(大部屋・個室)の希望がありましたら併せてお申し出いただくと判定や手続きがスムーズです。

いただいた書類をもとに、不明な点や当病院での入院生活に必要だと思われる点があれば、別途相談及び状況確認をさせていただきます。



02 入院判定

いただいた情報に基づき、受入可能か院内で協議します。判定会の開催頻度は週1回です。



03 判定結果

協議の結果、入院可能となりましたら現在入院されている病院の担当者を通じて入院日と到着時間をご連絡します。その際、移動方法や同伴者の有無等を確認させていただきます。なお、ベッドの空き状況や患者さんの状態などにより日程が前後したり、一般病棟でお受け入れすることがあります。



04 入院当日

入院当日は指定のお時間までに2階総合受付へお越しいただき、入院手続きをお願いいたします。